

泉佐野優人会病院の ご案内

About
Izumisano Yujinkai Hospital



医療法人 康生会

泉佐野優人会病院

IZUMISANO YUJINKAI HOSPITAL



絶対に見捨てない。

いたい、つらい、くるしい、かなしい。

わからない、知らない、なぜ、どうして。

不安なあなたの手を、どうかさしだしてください。

私たちは必ずその手をとります。

助けを求めるすべての人へ、絶対に見捨てない医療を。



泉佐野優人会病院

IZUMISANO YUJINKAI HOSPITAL



泉佐野優人会病院 院長

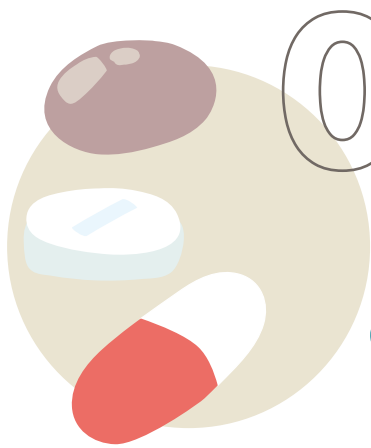
加藤 寛

当院は1982年に開設し、地域のみなさんのご理解・ご協力を得て地域医療に取り組んでまいりました。2004年以降は回復期・慢性期医療として、急性期病院からの患者さんを積極的に受け入れ、良質な医療の提供と積極的なリハビリテーションの提供を行い、自宅や在宅系施設への早期復帰を目指しています。特に神経難病、脳血管疾患による人工呼吸器が必要な患者さんも積極的に受け入れ、患者さん一人ひとりに合わせた入院生活を送っていただいています。

また、在宅後方療養支援病院として、在宅の患者さんや施設入所中の患者さんの急性増悪に対して24時間いつでも入院の受け入れを行っています。入院中は、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフ・介護職員などの専門多職種によるチーム医療を行い、患者さんの早期在宅復帰を目指しています。

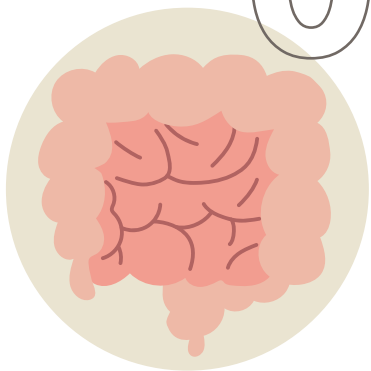
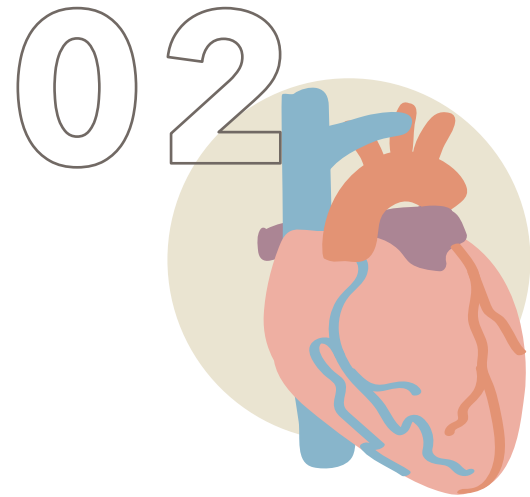
退院後は外来通院、訪問リハビリテーション、デイケア(通所リハビリ)サービス等をご利用いただき、在宅生活を安心して送れるような体制を整えています。今後も職員一人ひとりが「絶対に見捨てない。」理念のもと医療の質の向上に努め、心の通った医療・看護・介護・リハビリテーションを行い、今以上に地域のみなさんに信頼され、愛される病院となるよう努力してまいります。

外来診療科目



01 内科 p.6

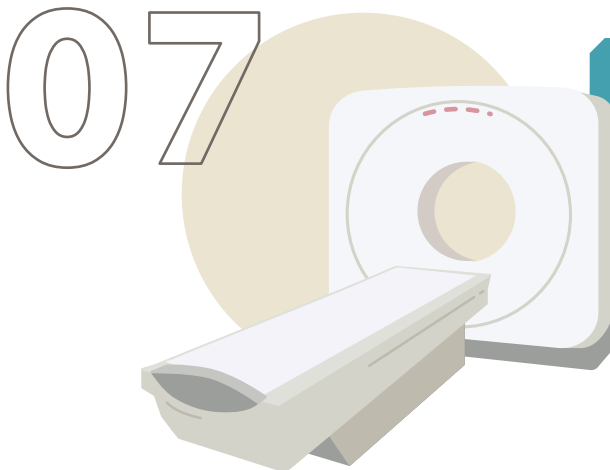
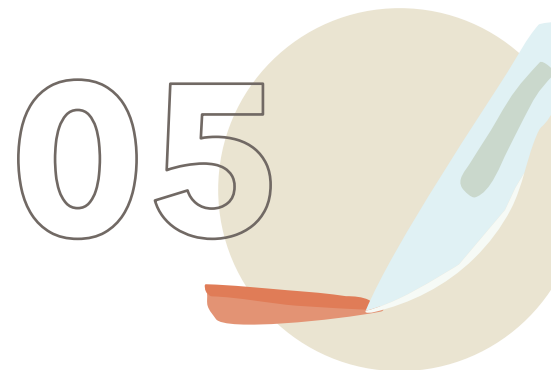
幅広い視点で診察します！
「複数の症状がある」
「何科を受診していいかわからない」
ときなどご相談ください



04 消化器 内科 p.7

消化器に関する
病気を治療します！

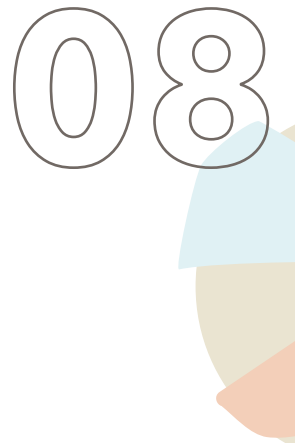
消化器 内科 p.7



07 放射線科 p.8

当院の放射線診断専門医が
診断します！

放射線科



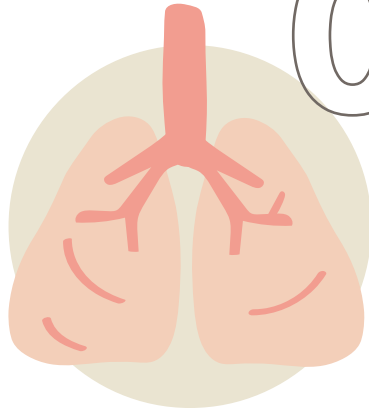
のご案内

当院には多くの診療科目があり、専門外来も豊富です。
その一つひとつをくわしくご紹介します。
困ったことがあったらぜひご相談ください。

循環器に関する病気は
意外と身近なもの。
健康をしっかりサポート！

循環器 内科

p.6



03 呼吸器 内科

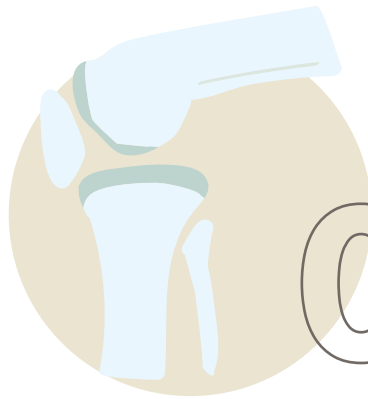
p.7

呼吸に関する
悩みや不安をお持ちの方は
ぜひご相談ください！

外科

p.8

専門医による
診察を受け付けています！



身体の「痛み」は我慢せず、
ぜひご相談を！

06 整形外科

p.8

リハビリ テーション科

p.9

たくさんの
リハビリスタッフが
お待ちしております！

たくさんあるから安心！



内科



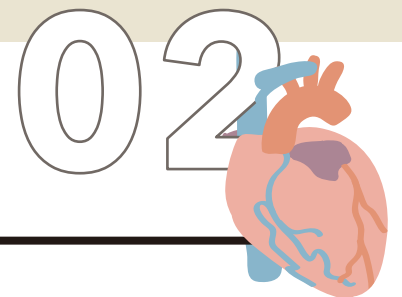
高血圧や糖尿病などの生活習慣病や、胃潰瘍や肝炎などの慢性疾患、そして風邪・腹痛・下痢などの一般救急疾患など専門分野以外にも幅広く診療を行っており、地域のみなさんがもしもの時に頼れる病院として健康をサポートいたします。また、血液内科・腎臓内科・循環器内科・リウマチ内科・消化器内科など、それぞれの専門医師が他科とも協力・連携し合い、さまざまな視点から、痛みや不調の原因を診断し対処法を見つけていきます。専門性の高い診療が必要な場合は、ほかの医療機関を紹介させていただきます。体調に変化や不安があるときには、ぜひお気軽にご相談ください。治療はもちろん、治療終了後にも、安心して療養生活を送れるようしっかりと支援いたします。



- ・ 風邪っぽい
- ・ 高血圧
- ・ 糖尿病

こんな症状の時
受診しよう

循環器内科

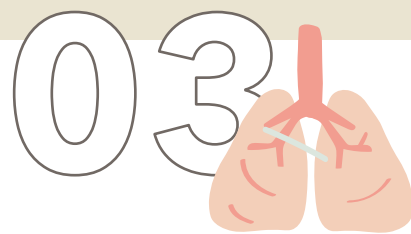


循環器内科は、血液を循環させる心臓と血管を診る診療科です。あまりなじみのない診療科かもしれませんが、高血圧や動脈硬化、血栓が原因の心筋梗塞など、循環器に関する病気は意外と身近なものです。不安や気がかりなことがあれば、いつでもご相談ください。

- ・ 日常的に動悸がする
- ・ 息切れをする
- ・ 胸痛がある

こんな症状の時
受診しよう

呼吸器内科



呼吸器内科は、呼吸に関する臓器を専門的に診ていきます。呼吸器の病気は、身近なものでは風邪や気管支炎、肺炎や気管支喘息などがあります。当院ではリハビリテーション科と連携し、呼吸リハビリを提供しています。息苦しさや息切れにお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

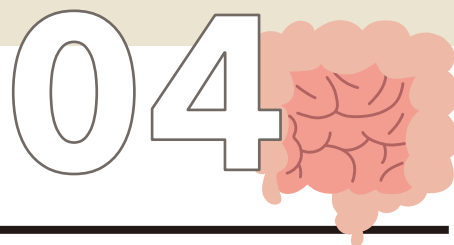
また、禁煙外来では、無理なく禁煙ができるようサポートを行います。気になる症状や禁煙治療への不安をお持ちの方も、まずはご相談いただければと思います。

- ・息苦しい
- ・禁煙したい

こんな症状の時
受診しよう



消化器内科



消化器科では消化管（食道・胃・十二指腸・大腸）と肝臓・胆のう・胆管・膵臓などに生じる疾患を中心に診察・治療を行っています。胸焼け、胃もたれ、胃痛、腹痛、吐き気、食欲不振、疲労感、便秘、下痢、血便、体重減少などは消化器科に関連する疾患の可能性があるので、お気軽にご相談ください。

- ・嘔吐
- ・下痢
- ・胃痛
- ・胸焼け

こんな症状の時
受診しよう



外科

05




外科領域全般の治療に携わっています。日本外科学会・消化器外科学会の指導医として、胃がんや大腸がんなどの機能温存やオーダーメイド治療が専門分野です。また、乳がん・甲状腺がんの早期発見と治療に努めています。

こんな症状の時
受診しよう

- えづきやすい
- 過去の検査がうまくいかなかった

整形外科

06



痛みというのは他人には理解されにくい症状であるがゆえに、痛みを感じている本人はより苦しいものです。また、痛みを抱えていることは大きなストレスであり、精神的な影響が出ることも少なくありません。当科では痛みの原因を正しく診断し、さまざまな対処法の中から患者さんに合った方法を選択し解決を目指します。体の痛みでお困りの方は、当院にご相談ください。

こんな症状の時
受診しよう

- 打撲した
- 慢性的な腰痛がある
- 膝関節が痛い

放射線科

07



当院の放射線部門では、CR（コンピューテッド・ラジオグラフィ）をはじめ、マルチスライスCT、透視撮影台、ポータブル撮影装置等が設置されています。また、PACSの導入による画像データの電子化を行い、スムーズな画像提供ができるよう努めています。情報の有効利用、開かれた医療を目指し、オーダーリングシステムとPACSをメインとした画像情報システムの構築を基本に、患者さんへのサービスに力を入れています。

こんな症状の時
受診しよう

- 各種レントゲン検査
- CT検査
- 胃透視（バリウム）検査

リハビリテーション科

08



リハビリテーションの国家資格を有した療法士が、運動機能や言語・嚥下面での評価と治療を行います。体が動きにくい、関節が痛い、在宅生活で困っていることがある、話すことや食べることに
関するリハビリテーションを受けたいなど、さまざまなお悩みについての助言や個別プログラムの提供をさせていただきます。「病院を退院したが急にリハビリがなくなるのは不安」「最近腰や肩の痛みが気になる」などの悩みをお持ちの方はぜひ一度ご相談ください。

当院は
リハビリテーションに
力を入れています！

リハビリテーションへの
くわしい取り組みは次ページから！

こんな症状の時
受診しよう

- ・日常生活で体が動かしにくい
- ・今ある痛みを軽くしたい
- ・できることを増やしたい



体調に不安があるときには、
ぜひ当院へご相談ください。
治療はもちろん、治療終了後にも、
安心して療養生活が送れるよう
しっかりと支援いたします。

泉佐野優人会病院の
リハビリテーション
への向き合い方

絶対に見捨てない

病院での治療が終わり、抱えていた病気が治れば患者さんはすぐに元の生活に戻れるのでしょうか。長い療養や当院では、その人らしい生活を取り戻すため、リハビリテーションに力を入れています。リハビリテーションに

当院が 実践する リハビリ テーション

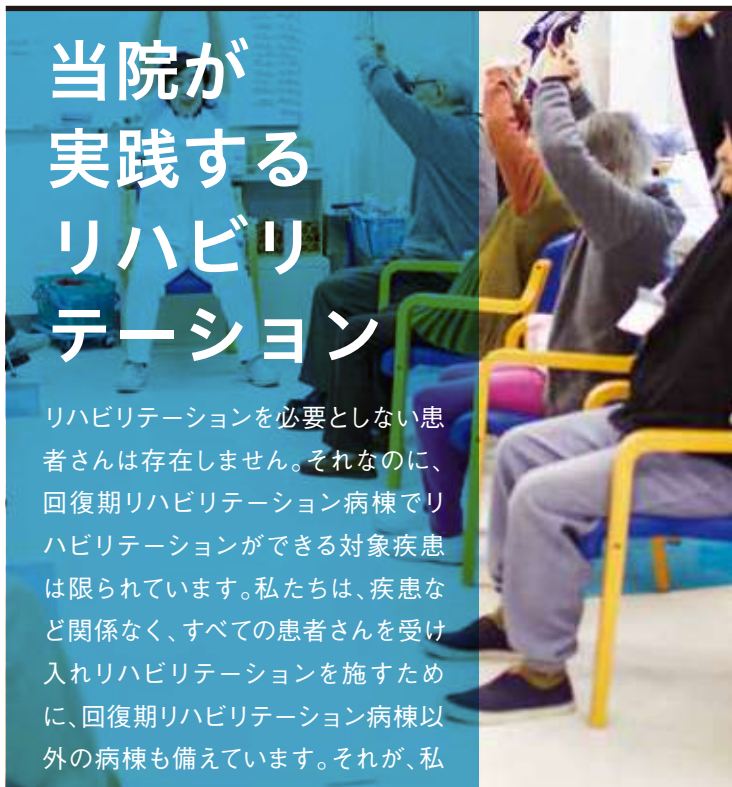
リハビリテーションを必要としない患者さんは存在しません。それなのに、回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションができる対象疾患は限られています。私たちは、疾患など関係なく、すべての患者さんを受け入れリハビリテーションを施すために、回復期リハビリテーション病棟以外の病棟も備えています。それが、私たちが自らをリハビリテーション病院と名乗らない理由です。限られた疾患の患者さんだけでなく、リハビリテーションを必要としているすべての人を支えたい、という想いが、私たちの掲げる「絶対に見捨てない。」医療につながっています。



その人に合った リハビリテーション

私たちのリハビリテーションのスタートラインは、その人に一番最適なりハビリテーションを提案するところから始まります。そのためには、患者さん・利用者さんの病状や心身状態を的確に把握することが大切です。当院ではリハビリテーションへのアプローチとして、inbody(体成分分析装置)を使用しています。

その人の筋肉量・脂肪量・水分量を分析し、体の状態に合ったリハビリテーションを提供できるよう努めています。また、歩行練習のサポートとしてHonda 歩行アシスト(歩行訓練機器)や「免荷式リフト」を導入することで、これまで歩行が困難だった方のリハビリテーションも可能になりました。



リハビリテーション

治療の末に、その人らしい生活が奪われてしまう。それで本当に「治った」ことになるのでしょうか。

よって一人でも多くの方が自分らしい生活を取り戻せるように、私たちはリハビリテーションに取り組み続けます。



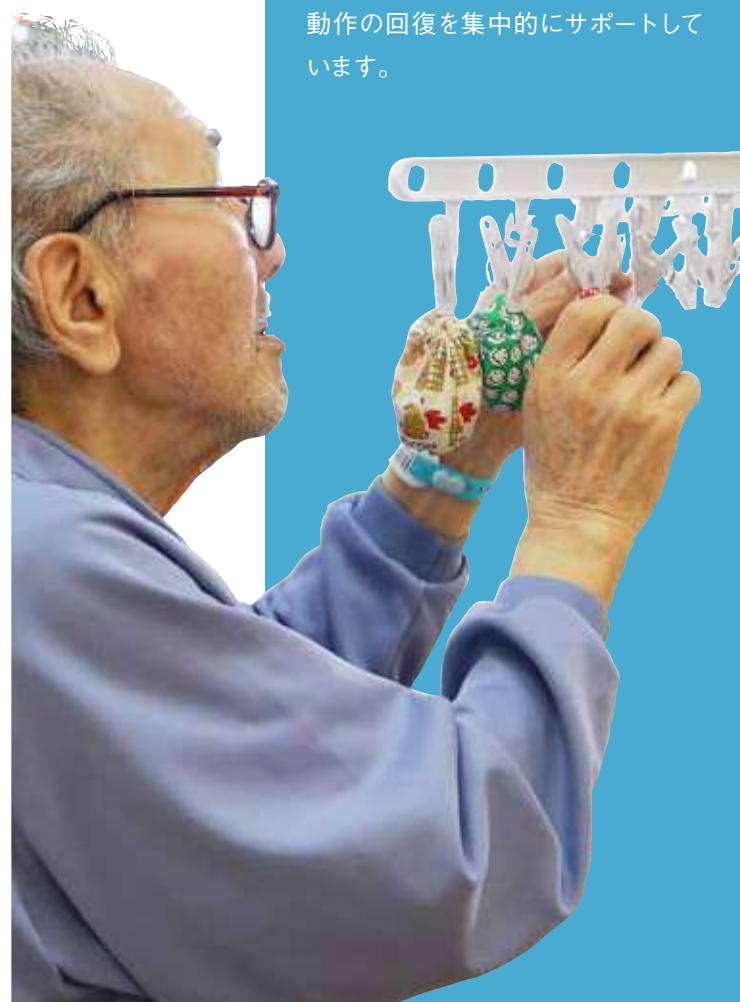
自宅に帰る ための リハビリ テーション

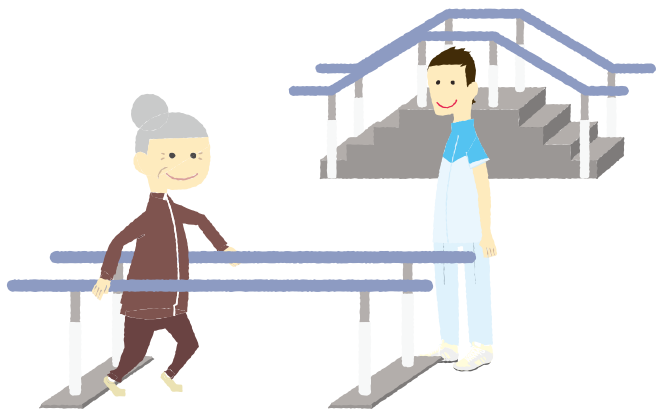
リハビリテーションに取り組む患者さん・利用者さんの一番の望みは、病気になる前のように「自分のいつもの暮らしを自分自身で行うこと」ではないでしょうか。私たちはその願いを真摯に受け止め、特に排泄・嚥下リハビリや、ADL(日常生活動作)に力を入れています。一人ひとりに必要な生活動作の回復を集中的にサポートしています。



自宅へ戻った 後も続く リハビリテーション

実際にご自宅へ戻られてから、新たに問題点や不安点が生じた場合も、私たちにご相談ください。患者さんが安全で安心できる在宅生活が続けられるように、退院後も外来リハビリや、デイサービス・訪問リハビリなど、リハビリテーションを続けられるサービスがあります。その際も、患者さんの入院中の情報を共有しているので、在宅復帰後も最適なリハビリテーションをスムーズに受けることができます。





当院が取り組む いろいろな リハビリ

離床への取り組み

入院生活で過度に安静な状態が続くと、身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響を引き起こす「廃用症候群」を招くことがあります。当院ではこの予防のため、趣味や娯楽を取り入れた、楽しみを目的とする離床や、生活に直結する目的のある離床など、徹底した取り組みを行います。目的を持って離床を行うことは、運動や認知機能低下の予防とともに、回復への最大の近道となります。

24時間365日 リハビリテーション

昼間以外の時間もリハビリテーションを提供します。退院後の生活環境や介助方法を検討するうえでも夜間の状況把握は大切となるため、当院では夜間の動作にもアプローチしています。特に夜間のトイレ動作や移動は転倒などのリスクも高く、介助に入ることでリスク回避や機能向上につなげていきます。

集団リハビリテーション

日中ベッドで寝ている時間を減らし、廃用症候群を防ぐため、他者とのふれあいや楽しみの要素を取り入れた、5～10名ほどの小集団によるリハビリテーションを行っています。お互いに協力し会話を楽しみながら、生活に必要な動作についてリハビリテーションを行うことが可能です。スタッフがさまざまなプログラムを提供し、運動や認知機能の低下予防と回復をサポートします。

個別リハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が1日最大3時間、個別でリハビリテーションを実施します。運動機能や認知機能、嚥下機能など、患者さんの状態を総合的に評価し、一人ひとりに合った最適なリハビリ計画を提案。集中的なリハビリテーションを提供することで、早期の在宅復帰をサポートしていきます。

リハビリ機器の活用

脳卒中や脊髄損傷の患者さんに対して、リハビリ機器を用いたリハビリテーションを実施します。歩行時の股関節の動きを検知し、コンピューター制御で足の振り出しを支援するHondaアシストや、筋電計を用いた運動など、先端機器で患者さんをサポートします。

在宅分野での取り組み

患者さんが自分らしく安心した在宅生活を送れるよう、外来リハビリ、デイケア・訪問リハビリを提供しています。身体機能面の治療はもちろん、生活しやすい住宅環境の設定や、介助者へ介助方法のアドバイスなども行います。

多職種協働と退院支援

リハビリテーションの効果を最大限に引き出すため、医師、看護部、介護部、栄養部など、さまざまな専門職と強力なチームを形成し、全力で在宅復帰を支援します。また、退院の際はソーシャルワーカーやケアマネジャーと協力し、さまざまな制度や施設、機関などといった社会資源の活用や、介護福祉サービスについて情報提供およびご提案をします。



総合的な リハビリテーション視点

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士はそれぞれの職種の専門性を高めながら、お互いを知り、認め、そして情報共有を行っています。例えば、在宅のリハビリテーションにおいては3職種が一緒に関われないこともあるため、自身の専門領域でない問題に出会うことも少なくありません。しかしその際も、医師や他職種への相談、または対応策を提案し、トータルな関わりができるよう、常に総合的な視点による取り組みを実施しています。

物理療法の充実

超音波治療器や低周波治療器、温熱治療器、マイクロ波、牽引などの物理療法の機器を備えています。拘縮予防や疼痛緩和をはじめ、骨折後の骨癒合促進などに用いています。また、麻痺した筋の随意性を高めながら運動療法を併用し、機能回復に努めています。

膀胱・直腸機能 リハビリテーション

尿意・便意の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰における最重要課題のひとつです。自らの意志で、自らトイレで排泄を行う。健康な時であれば当たり前であった行為を取り戻すため、入院直後から早期排泄自立を徹底して意識し、一人ひとりに合わせたリハビリプログラムを実践します。



摂食・嚥下 リハビリテーション

高齢者は疾病などで状態が悪化した場合、嚥下（飲み込み）機能が低下し、疾病は治癒したものの、食事ができないために、在宅復帰ができないこともあります。これは、医学的リスクだけでなく、食の楽しみを奪い、QOL（生活の質）の低下も招く大きな問題です。その予防のため、言語聴覚士を中心に、入院後早期から嚥下機能を評価し、適切な食事とリハビリテーションで、機能訓練を行います。

ホームワークの推進

個別・集団のリハビリテーション以外の時間も有効に活用していただくため、一人ひとりに応じたホームワーク（自主的練習）を提案しています。患者さんが高いモチベーションでリハビリテーションに取り組めることは退院への近道となるため、積極的に取り組めるような訓練を提案します。

悪い慣習を
取り払う!

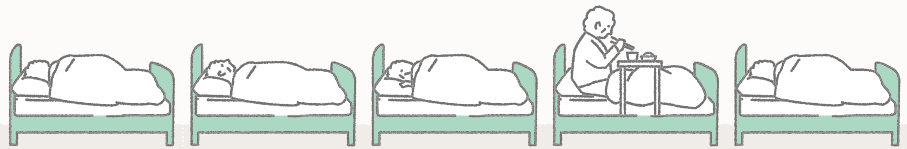
入院受け入れ体制

医療界にはびこる **BAD** ポイント

廃用症候群につながる



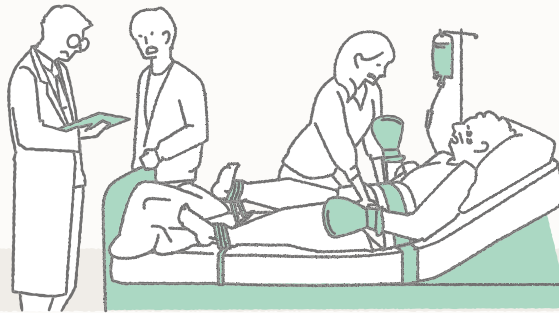
「不必要な安静」。



それは本当に

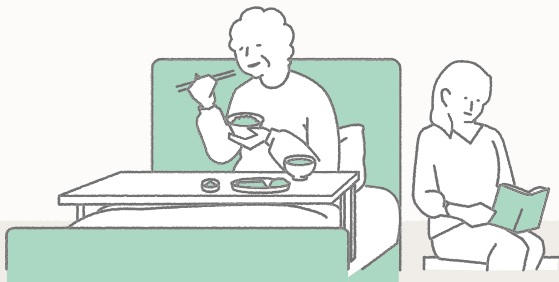
患者さんのために必要な

「抑制」?



病気を治すのは医療が中心で、

食事は「おまけ」?



在宅復帰を遅らせる、

「口から食べる」を考えもしない医療。



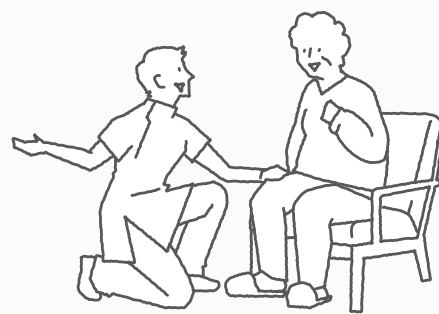
「自分でトイレ」を遠ざける、

「なんとなくそのまま」な

排泄ケア。



せっかくお家に戻っても、一人でできることが少ないと、生活するのはとても大変。
元の生活に近づくには、入院中からしっかり準備することが、在宅復帰への鍵になります。
多くの病院で行われている悪い慣習は、その在宅復帰の妨げとなるものが多いのです。
私たちは入院時によくあるこの慣習を取り払い、高齢者の在宅復帰をサポートしています。



当院が取り組む **GOOD** ポイント

「楽しく、目的のある離床」で、

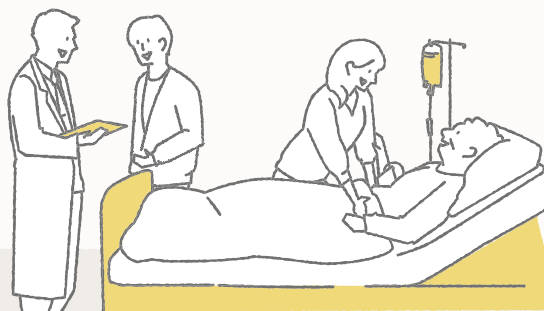
心身機能の低下を防ぎます。



「抑制しない工夫」が

患者さんのために

なるのです。



病気を治すには、

「きちんとした食事」が

必須です。

適切な評価とリハビリテーションで、

「口から食べる」を

サポートします。



膀胱・直腸リハビリをしっかり行うことで、

在宅復帰につなげます。



2つの
病棟でサポート
します！



病棟のご紹介

患者さんをスムーズに受け入れ、積極的なリハビリテーションと治療で、
早期の在宅復帰をサポートいたします。

▼ 医療療養病棟

病床数：228床

急性期医療の治療後も療養が必要な方を受け入れます

高度急性期病院での治療が終わったものの症状が安定せず、すぐに在宅復帰できない患者さんを受け入れます。ご自宅や施設への復帰を目標に、集中的な治療と積極的なリハビリテーションを施すことで症状を安定させ、早期復帰をサポート。退院後に治療を要する状態となった際も、迅速に受け入れが行えるよう体制を整えています。

▼ 回復期リハビリテーション病棟

病床数：37床

リハビリテーションに特化した専門病棟です

脳血管疾患や骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れ、多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供、心身の回復を図り早期の在宅復帰を目指します。退院後には関連施設や地域病院等と連携し復帰後の生活をサポート。1日のすべてがリハビリテーションにつながるような生活を提供することが特長です。



平成医療福祉グループ SNSをフォローしよう!

グループ病院・施設の紹介や、
健康レシピに川柳、
思わず取り組みたくなるレク動画など
楽しいコンテンツを更新しています。
新企画も続々スタート！
ぜひご注目ください！

@HMW.group



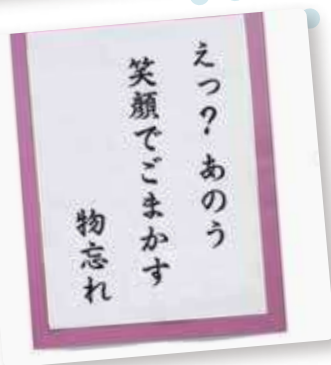
【第28回】ひとプロジェクト



@hmw_group



フォロー&いいね！を
お願いします！



平成医療福祉グループ





人間ドック 健康診断の ご案内

大切なのは早期発見、早期治療、そして予防です。
みなさんの健康維持、増進の
サポートをいたします。



地域のみなさんの健康をサポートします

適切な予防のための 人間ドックコース設定

ニーズに合わせた人間ドックコースとオプション検査を豊富にご用意しています。生活習慣病のほか、心疾患や特定のがんなど、疾病の早期発見・予防のために最適な組み合わせとなるよう努めています。



専門的な見地からの アドバイスを実施

病気の早期発見・予防に努めるのはもちろん、診断結果に応じて、医師や看護師、管理栄養士など専門スタッフが適切なアドバイスを実施。ご希望に合わせて健康管理のサポートをさせていただきます。



当院で実施している人間ドック・健康診断

健康診断は完全予約制となっています。お電話にてご予約を承りますので
お気軽にお問い合わせ下さい。

人間ドック

健康診断よりも検査範囲が広く、より専門的に調べるため、がんなど重篤な疾患の発見・予防に役立ちます。オプションを追加することで、気になる点をさらに検査することも可能です。



人間ドックには
各種オプション検査を
追加することができます。
体の不調に合わせて
ご自身にあった検査を
組み合わせてください。

健康診断

現在の基本的な健康状態を確認しながら、生活習慣病を中心とした検査を行い、そのリスクを調べます。定期的を実施することで、健康管理に役立てることができます。*健康診断は予約制です。

泉佐野市の健診

当院では泉佐野市の特定健康診査や、後期高齢者健康診査も実施しています。泉佐野市内在住の方は、自己負担なく検査を受けられます。

受診の流れ

1 予約と事前準備

電話やメールで予約後、検査に必要な書類を送付しますので、受診日までに必要事項を記入してください。

2 健診当日

指定時間に受付へお越しください。コース・オプションに合わせてご案内いたします。



3 受診後

結果票を送付いたします。結果により、再検査や外来受診が必要になる場合があります。

！ 診断結果に異常がみられた場合は当院で治療を受けることができます

病院との連携で 安心のフォロー体制

2次検査や精密検査の必要がある場合、当院の各診療科と直結してスピーディーな対応が可能です。高次の医療機関での治療が適切と判断した際は、連携病院の紹介もさせていただきます。



スムーズに 治療へ移行

検査結果で異常が認められたときは、スムーズに外来診療に移行し、治療を受けることができます。検査結果は変化する可能性がありますので、年1回は健康診断を受診し、健康状態を確認することが大切です。

人間ドック、健康診断については **当院Webサイトへ**

泉佐野優人会病院 健診



訪問サービス

こんな方が対象です

- ✓ 退院後の在宅生活に不安がある方
- ✓ 通院することが難しい方
- ✓ 自宅でリハビリを受けたい方

主治医と連携しながらきめ細やかなケアで在宅生活をサポート

看護師がご自宅を訪問し、主治医の指示のもと、健康チェックや医療的処置、日常生活の支援を行うサービスです。「訪問診療だけでは心配」「自宅での生活に慣れるまで様子を見て来てほしい」といったご希望に合わせて、安心した療養生活が送れるようサポートします。

訪問看護

自分らしい在宅生活を送るため住環境に合わせたリハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが利用者さんのご自宅を訪問し、リハビリテーションを提供するサービスです。身体機能面の維持回復はもちろん、生活しやすい住環境の設定や介助者への介助ポイントのアドバイスを実施。利用者さんが住み慣れた環境で、自分らしく生活ができるよう、専門スタッフがサポートいたします。

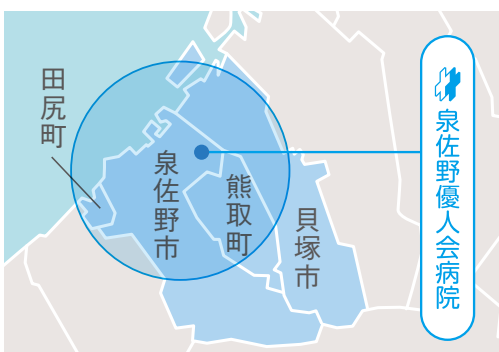
訪問リハビリテーション

訪問エリア

泉佐野市/貝塚市/熊取町/田尻町

病院から車で約20分以内の範囲に訪問しています。

※上記範囲外の場合でもお気軽にご相談ください。



通所サービス

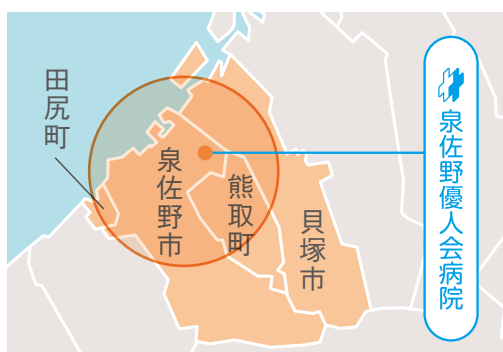
こんな方が対象です

- ☑ 退院後もリハビリを継続したい方
- ☑ 日常動作での不安を解消したい方



ご自宅で安心して過ごすため
リハビリテーションで支援します

利用者さんが可能な限り自宅で自立した生活ができるよう、リハビリテーションを受けることができるサービスです。一人ひとりに合わせたオーダーメイドのリハビリ提供や入浴、食事、多彩なレクリエーションなどで、生活向上や日常生活の支援を目指します。



利用エリア

泉佐野市/貝塚市/熊取町/田尻町

病院から自宅まで車で約15分程度の範囲

※上記範囲外の場合でもお気軽にご相談ください。

入院のお申し込み

365日24時間体制で受け入れる、安心できる診療を提供します。

病院からのご紹介



在宅主治医・施設からのご紹介



レスパイト入院について

常時医療管理が必要な方が在宅で療養されていて、ご家族(介護者)の事情(冠婚葬祭、旅行、病気、介護疲れなど)により在宅介護が一時的に困難になった場合に、当院で短期入院をすることができます。

利用可能な方

- 介護保険によるショートステイが困難で、医療的管理が必要な方
- 神経難病の方、人工呼吸器を装着された方
- 胃ろうなど経管栄養の方
- 自力歩行や排泄が困難な方

ご利用の流れ

レスパイト入院について、まずはお電話でお問い合わせください。
なお、レスパイト入院は空きベッドを利用して行います。
必ずしもご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



絶対に見捨てないプロジェクト

病室に禁煙して、プロジェクト

身体抑制は、廃止します。

BAD

GOOD

身体抑制は、患者さんの権利を侵害し、苦痛や不安を増大させ、回復を遅延させ、褥瘡や関節炎などの合併症を引き起こす可能性があります。また、患者さんの自尊心を損なう恐れがあります。

身体抑制を必要とする場合は、医師の指示に基づき、患者さんの安全を確保するために限定的に実施する必要があります。ただし、身体抑制は、患者さんの権利を侵害する行為であり、可能な限り避けるべきです。

身体抑制を必要とする場合は、医師の指示に基づき、患者さんの安全を確保するために限定的に実施する必要があります。ただし、身体抑制は、患者さんの権利を侵害する行為であり、可能な限り避けるべきです。



病室に禁煙して、プロジェクト

みんなに嬉しい食事を。

BAD

GOOD

食事は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、食事は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに楽しい食事を提供することは、重要な課題です。

食事は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、食事は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに楽しい食事を提供することは、重要な課題です。



病室に禁煙して、プロジェクト

目的を持った離床を。

BAD

GOOD

目的を持った離床は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、目的を持った離床は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに目的を持った離床を提供することは、重要な課題です。

目的を持った離床は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、目的を持った離床は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに目的を持った離床を提供することは、重要な課題です。



病室に禁煙して、プロジェクト

「自分でトイレ」を、応援します。

1

2

3

4

トイレは、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、トイレは、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに自分でトイレを利用できるように応援することは、重要な課題です。

トイレは、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、トイレは、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに自分でトイレを利用できるように応援することは、重要な課題です。



病室に禁煙して、プロジェクト

「口から食べる」を、応援します。

1

2

3

4

食事は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、食事は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに口から食べることを応援することは、重要な課題です。

食事は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、食事は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに口から食べることを応援することは、重要な課題です。



病室に禁煙して、プロジェクト

多剤内服には、させません。

1

2

3

4

多剤内服は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、多剤内服は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに多剤内服をさせないことは、重要な課題です。

多剤内服は、患者さんの生活の中心であり、心身の回復に大きく貢献します。また、多剤内服は、患者さんの自尊心を高め、生活の楽しみを増やします。したがって、患者さんに多剤内服をさせないことは、重要な課題です。



グループ全体の大きな取り組みとして、「積極的な離床」「多剤内服の防止」「食事への楽しみ」「身体抑制の廃止」「排泄機能の回復」「摂食・嚥下の回復」の6つを推進しています。これを理念にのっとり「絶対に見捨てないプロジェクト」として、グループ全体で取り組んでいます。しっかりと意識して取り組むため、また、患者さんへもその取り組みを知っていただくために、院内にプロジェクトポスターを掲出しています。プロジェクトでどんなことをしているのか、ぜひご覧ください！



医療法人 康正会

泉佐野優人会病院

IZUMISANO YUJINKAI HOSPITAL

■診療時間

【月～金曜日】午前09:00～12:30／午後03:00～05:00

【土曜日】午前09:00～12:30

■休診日 日曜祝日・年末年始

〒598-0063 大阪府泉佐野市湊4丁目5番17号

総合受付

☎ 072-462-2851

izumisano@yujinkai.or.jp www.yujinkai.or.jp